

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

②大学院生や教員相互のピアレビューでの授業評価による教育指導の改善

②大学院生や教員相互のピアレビューでの授業評価による教育指導の改善

《人社系》

●関西学院大学社会学研究科社会学専攻

「社会の幸福に資するソーシャルリサーチ教育」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

大学院で開講される全ての科目に関して受講生による授業評価を実施した。しかしながら、少人数での授業が中心となる大学院での授業においては、回答者個人が特定できる可能性が感じられるため受講生側に授業評価することへの抵抗感があるように感じられた。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

結果的に科目ごとの授業評価の回答件数に差異があり、授業評価の結果をデータとしてカリキュラム全体の検討に活かすことは困難であった。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

院生各人による授業評価実施後に、院生の代表者と大学院教務・学生正副委員が面談する機会を持ち、授業評価の概要を踏まえて授業カリキュラムに関して意見交換する機会を設けた。その結果、アンケート式の授業評価だけでは把握できない授業に関する課題や問題点を明らかにすることができた。